

(様式2)

3. 事後評価の実施

(1) 実施時期

令和元年8月 評価結果と決定

(2) 評価の方法

事業完了後、教育委員会事務局及び担当課で事後評価を実施した。
その結果を市のホームページに公表し、市民への情報提供及び市民の意見聴取に努める。

4. 総合的な所見

施設整備計画に計上した事業について、計画どおり達成できた。
小山城南中学校と豊田中学校の天井の改修を行い、災害に備えた整備を向上させることができた。
また、新設校を設置することで小学校の大規模化を解消し、教育環境を充実させることができた。

5. 各目標の達成状況

(1) 公立の義務教育諸学校等施設の老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(2) 地震、津波等の災害に備えるための整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

吊り天井を有する小山城南中学校格闘技場と豊田中学校講堂の天井において、落下防止のための改修が完了し、災害に強い安全な施設となった。

(3) 防犯対策など安全性の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(5) 施設の特徴に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

旭小学校と大谷東小学校の教室不足への対応と通学路において安全性の向上を図るため、分離新設小学校として東城南小学校を設置し、教育環境の充実を図ることができた。

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況